

えひめを愛する vol.147

ひめっこNEWS 缶



愛媛民医連の医療と学生の動きを伝えるニュース、絶賛刊行中！ 2024.10.10

2024 夏 えひめ医療系学生のつどい in 大久野島



9/7(土) えひめ医療系学生のつどいを開催しました。今回は広島県の大久野島へフィールドワーク！愛媛からは学生3名、広島からも学生4名が参加してくれました。朝早くから出発しバス・フェリーに乗りお昼前に到着。足元にはうさぎがたくさん(*´ω*)

「ウサギの島」として有名な大久野島ですが、ここはかつて大規模な毒ガス工場があった「毒ガスの島」でもあります。島には毒ガス資料館があるほか当時の痕跡が今も残り、後遺症に苦しむ元作業員の方もおられます。現地のガイドさんから解説を受けながら戦争の加害の歴史を学びました。

お昼の後は愛媛を知ろうと、愛媛の有名企業である伯方の塩工場を見学。塩ができるまでの工程を学び、最後にお土産ももらって帰りました。

【感想】

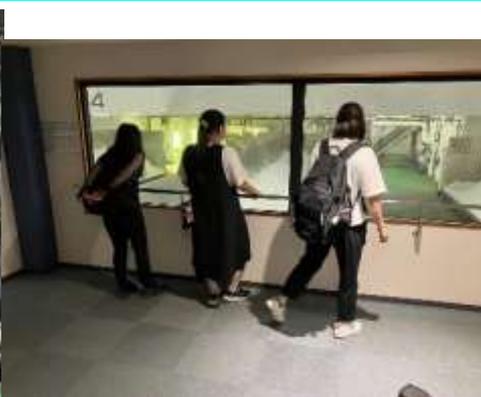
- ・うさぎがたくさんいて驚いた。また、実際に島を歩くことで、小さな島で毒ガスが製造されていたことを知り、島全体が毒ガスの影響を受けていたことを実感できた。
- ・戦争は被害だけでなく加害もあるというガイドさんの言葉が1番印象に残りました。



※許可を得て立ち入っています



※許可を得て立ち入っています



Topics!

看学生

9/28 たま café 『愛媛医療生協について』学

9月のたま café は「医療生協」についての学習会でした。今回は松山市にある城北診療所の地域事業課・山本さんに講師をお願いしました。

そもそも「生協（生活協同組合）」ってなんでしょう？という話からはじまり、医療生協の目指すもの＝健康観、そしてその健康の実現の具体化として組合員さんたちが地域でおこなっているウォーキングや体操、手芸などの集まりの様子まで紹介してもらいました。

学生からは「地域でこんなことをしているなんて知らなかった」「住民主体で支えあう活動がもっと広がったらいいと思う」などの感想がありました。



医療福祉生協のシンボルマーク



医学生

9/21 OSCE対策講座

9/21(土)にOSCE対策講座を開催しました。

今年は医学生からの強い要望で開催となり、2名が医療面接と神経診察、採血練習を行いました。

【感想】

- ・先生方に個別で詳しいアドバイスを頂くことができたので、自信をつけることができた。
- ・先生方も非常に優しく、質問しやすい環境だったので、積極的に取り組めた。
- ・患者さんに伝わるような言葉や指示が大事だという事が分かった。
- ・採血練習を何度もできて良かった。



薬学生

9/14 愛媛民医連薬剤師

交流集会を開催！

愛媛生協病院で、奨学生の4名含む総勢23名の参加者で開催されました。内容は、入職1～2年目の薬剤師のこれまでの研修の報告と、石川民医連・城北病院の薬剤師、針田昌子先生の「被災地の保険薬局を支える」と題した講演でした。

針田先生は、今年の元日に発生した能登半島地震で被災されただけでなく、2011年の東日本大震災でもいち早く支援に駆け付けられており、支援を受ける側、受け入れる側、双方の経験から貴重なお話がたくさん聞けました。

夜は、針田先生を囲んでの懇親会で交流を深めました。

【学生の感想】

・特に印象に残ったのは、現地の医療従事者も被災者ということである。水が通っていないと、トイレを使うこともできず、感染症の恐れが高くなるため、簡易トイレの設置などが避難所などだけではなく、医療現場などでも行き届くような対策が必要と感じた。

・薬が不足して、連携も取りにくい状況でボランティアとして被災地に向かった医療従事者の方々を尊敬します。南海トラフも近いと言われていて不安ですが、災害に備えて自分にできることを考えて生活しなければなど思いました。いつか機会があれば、ボランティアとして行ってみたいと思いました。



↓お問合せはこちらまでどうぞ↓

●愛媛県民医連事務局●

Tel:089(990)8677

(松木、藤村、松野)

Mail:igakusei@ehime-med.org

